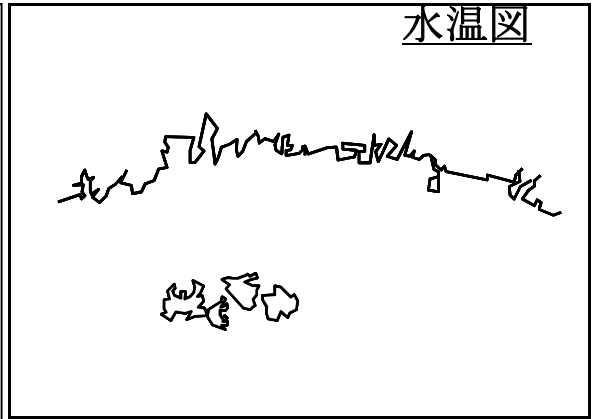


# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8 号)

平成29年1月7日発行  
 兵庫のみ研究所

地先漁場では前回 (12/22) 調査同様、複数種の珪藻が確認されていますが、窒素は4~5  $\mu\text{g at / L}$ 台でした。沖合漁場では窒素は西部域において6  $\mu\text{g at / L}$ 台、東部域において概ね4~5  $\mu\text{g at / L}$ でした。この海域沿岸域を中心にユーカンピアが散見され始めました。栄養塩は今のところ平年より高い値で推移していますが今後、珪藻の発生状況と栄養塩動向に注意が必要です。

(**栄養塩、珪藻**) 地先漁場では珪藻の発生量について、前回調査と比較し大きな増減は見られないが、ユーカンピアが散見される。沖合漁場においても家島漁場周辺海域でユーカンピアが散見されつつある。坊勢漁場周辺海域では珪藻はほとんど確認されず少ない状況。今のところユーカンピアの発生量は今後すぐに問題となる状況ではないが、その動向が注視される。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	5.8	6.6	2.4	2.2
	リン	0.66	0.69	0.34	0.31
家島・坊勢	窒素	5.1	5.4	4.0	4.7
	リン	0.64	0.66	0.55	0.53

(12/22) (1/5)

## 栄養塩 (窒素) 図

※地先平均は赤穂沖の値を除く

平成29年1月6日調査

